

絵師。近江国(現滋賀県)出身。本名は恒則。父の松本彌兵衛長則は松本能登長光の弟で藤堂高虎に仕えたとされる。京で画道修業したのち、松山藩初代藩主松平定行に招かれ、絵師制度の未だ確立していなかった時代に、藩主のため絵御用を務めたとされる。また、かつて山雪が住んだという石井の辺りには、馬の絵の名手としての伝説が残されている。

略歴

生年不詳	近江国で生まれる。
寛永12(1635)年	この頃、松山藩初代藩主松平定行に招かれ、京より松山に移ったとみられるが、定かではない。
明暦4(1658)年	松平定行が定頼に家督を譲るにあたり作成された文書『乾光院殿御治世支配帳』中に「扶持方斗… — 貳人扶持… — 同 松本山雪」の記述がある。
寛文元(1661)年	砥部町三島神社「騎馬図」を作成。
延宝4(1676)年11月23日	永眠。墓所は松山市南土居万福寺。

<関連図書>

- 土居次義「伊予の画人 松本山雪」『日本美術工芸昭和52年10月号・469号』 1977年
- 矢野徹志「伊予の画人」『文化愛媛 第5号』愛媛県文化振興財団 1983年
- 松山市立子規記念博物館『第13回特別企画展 松山の藩絵師』松山市立子規記念博物館 1986年
- 矢野徹志「松本山雪」『伊予の画人』愛媛新聞社 1986年
- 愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 芸術・文化財』愛媛県 1986年
- 伊予史談会双書『松山藩役録』伊予史談会 1989年
- 愛媛県教育委員会文化財保護課『愛媛の文化財』愛媛県教育委員会 1993年
- 矢野徹志『愛媛の近世画人列伝 — 伊予近世絵画の流れ』愛媛県文化振興財団 1996年